

那覇の家 CONCEPT

建替前は高層アパート等からの視線が気になり、窓の開放ができず、空調や照明に頼る生活を余儀なくされていた為、設備に頼り過ぎることなく自然の風を感じられると共に、プライバシーや防犯対策に配慮した造りが求められた。そこで、沖縄の伝統家屋に習い、道路との間に花ブロック壁（ヒンプン）を設け、プライバシーや防犯に配慮しつつ、自然の光と風を室内に取り込める計画とした。さらに、外部と内部との間に半屋外空間のテラス（ナーやアマハジ）を設けることで、私的空間の延長として利用できる空間が生まれ、視線を気にすることなく開放的な生活ができる計画とした。また、1階に住む親世帯の様子をアプローチから見えるつくりとし、安心を得られるようにした。夜は室内からの明かりが行灯のように周囲を優しく照らし、通りの風景となる、都市型住宅の提案である。



伊良波 朝義（有限会社 義空間設計工房）

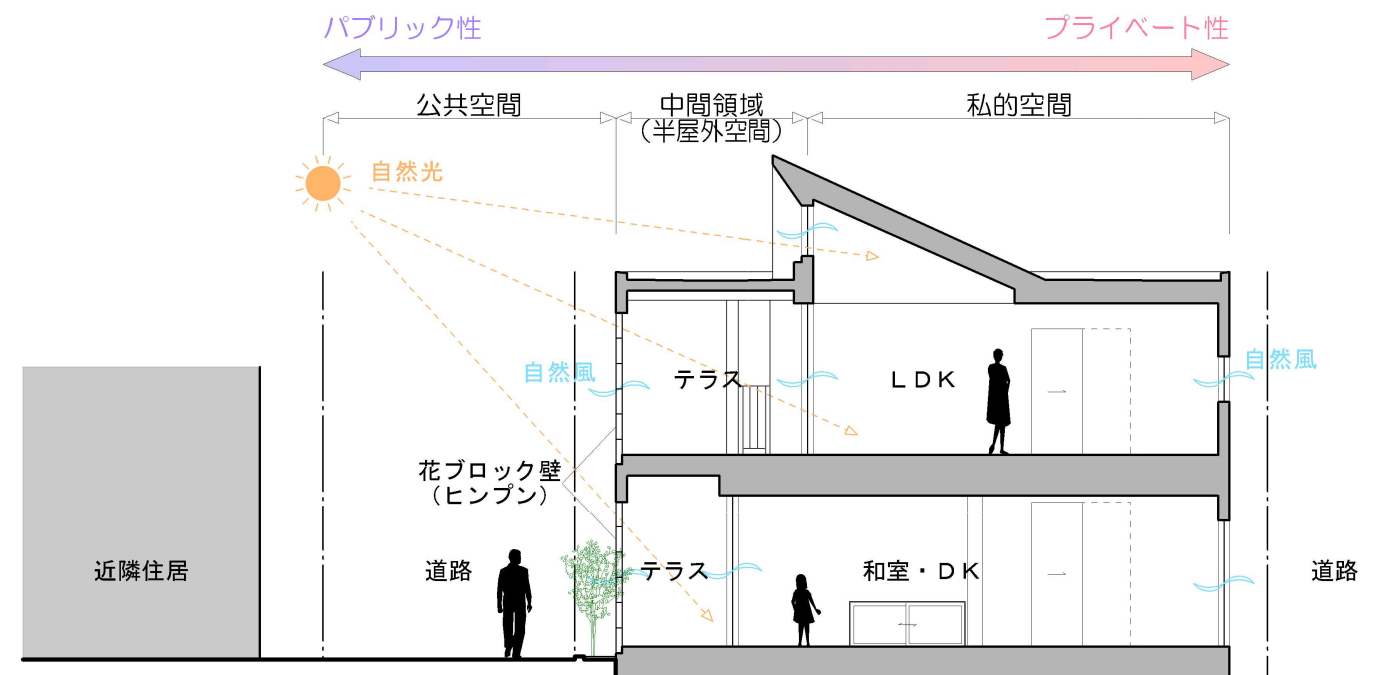
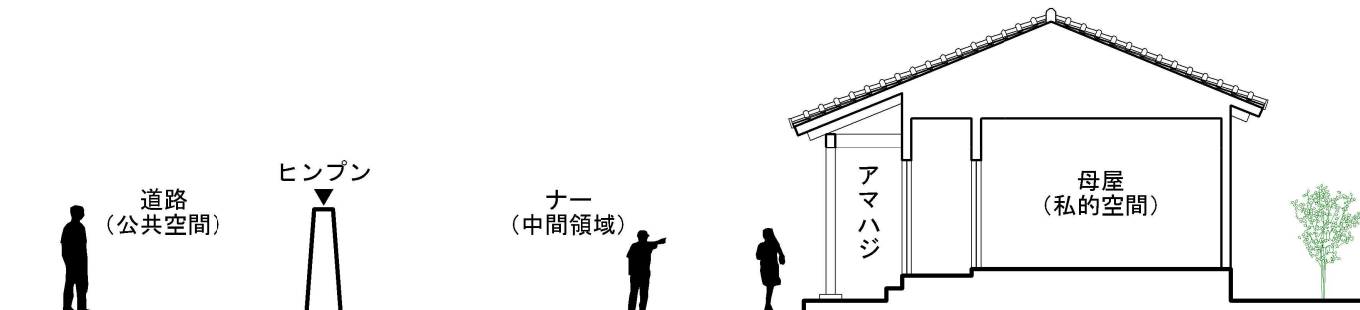
プロフィール
 1990年 琉球大学工学部建設工学科 卒業
 1990年～1996年 株内井昭蔵建築設計事務所
 1997年 有義空間設計工房 代表取締役
 2014年 琉球大学工学部 非常勤講師



■ 沖縄の伝統家屋

沖縄の伝統的家屋の空間構成は、道（公共空間）と母屋（私的空間）との間にヒンプンを設え、視線を適度に遮りながら開放出来る空間構成となっている。また、ナー（庭やアマハジ）は生活の延長的な使い方を可能とし、空間に豊かさを与えている。

■ 空間構成のヒエラルキー（序列）





A ダイニングキッチンや和室、テラスが一体利用出来るフラット型の収納式建具



B 子供の遊び場やくつろぎスペースとして一体利用できるリビングやテラス

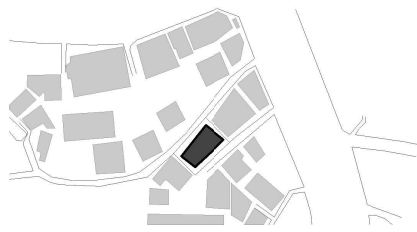


C 自然光と間接照明で柔らかい雰囲気のある寝室

■建築概要

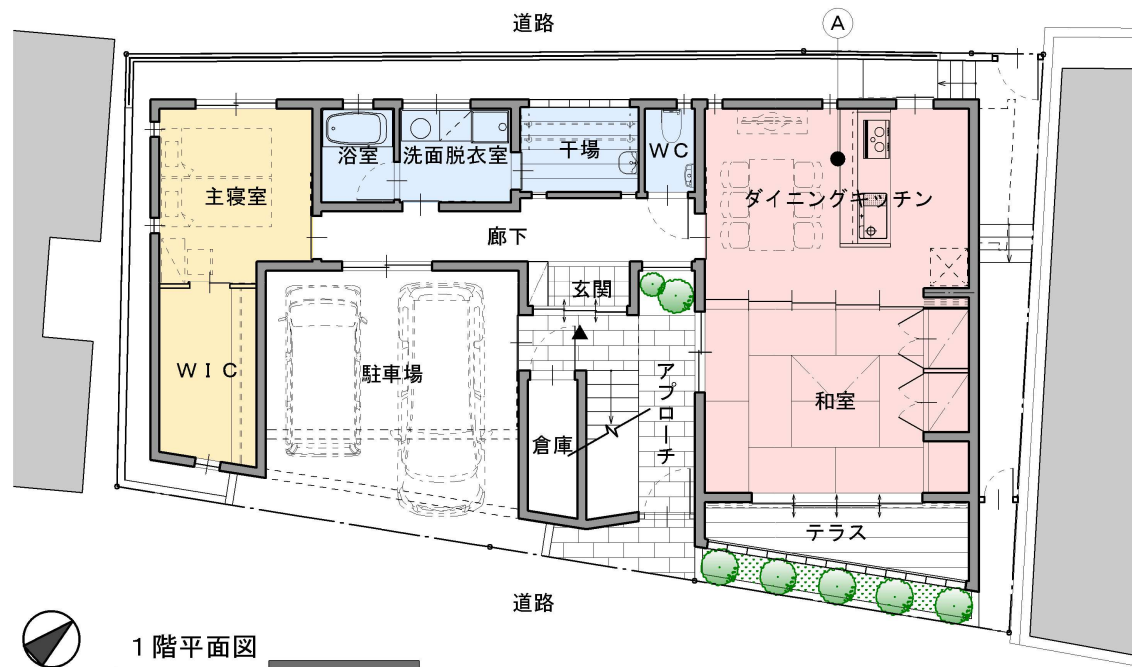
所在地 : 那覇市寄宮
 用途地域 : 第1種中高層住居専用地域
 一部 近隣商業地域
 用途 : 長屋
 構造 : 鉄筋コンクリート造
 地上2階建て

敷地面積 : 180.84㎡ (54.7坪)
 建築面積 : 127.21㎡ (38.5坪)
 延床面積 : 254.42㎡ (77.0坪)

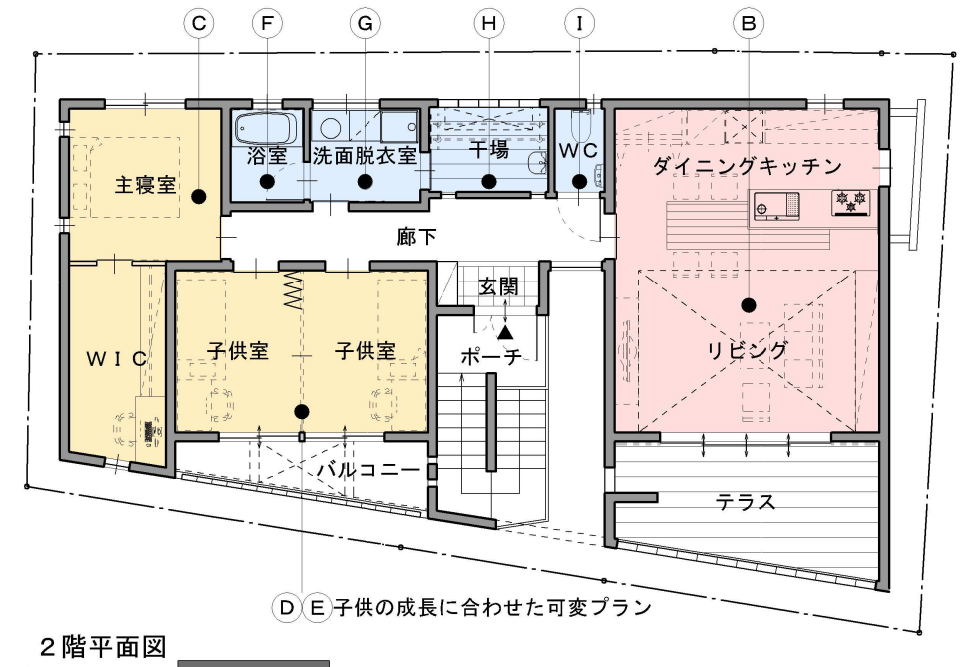


付近見取図

- パブリックゾーン
- プライベートゾーン
- サービスゾーン



1階平面図



①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ 子供の成長に合わせた可変プラン

2階平面図

D 可動間仕切りをオープンとし、一体利用できる状態



E 可動間仕切りをクローズし、個部屋とした状態



F 浴室



G 洗面脱衣室



H 干場



I トイレ

